

大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

資料1-2

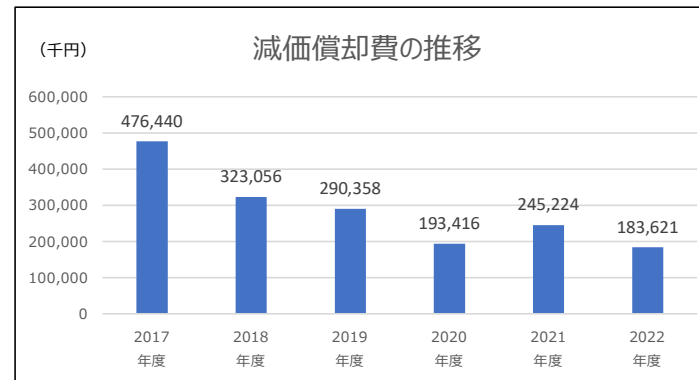
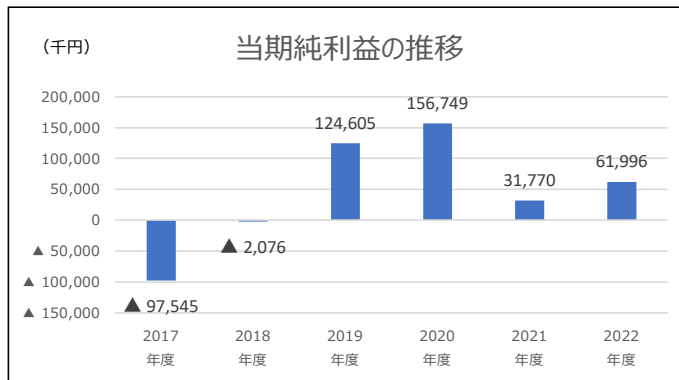
項目① 経営状況及び各種経営指標

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻による物価高騰などの影響により厳しい経営環境にあったものの、指定管理者納付金の増や減価償却費の減等により、当期は62百万円の黒字となった。
 初の単年度黒字となった2019年度決算以降、4期連続黒字を達成しており、累積欠損金（137億円）はあるが、累積欠損金以上の資本金（220億円）を有しているため、会計上の資本不足（債務超過）に陥っておらず、資金状況も含め経営状況に特段の問題はない。また、経営状況の参考となる各種経営指標も次のとおりであり、良好又はよい傾向にある。

(1) 収支状況

(単位：千円)

科目	年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
市場事業収益		754,775	718,427	745,637	680,718	720,283	675,450
営業外収益		754,775	718,427	745,637	680,718	720,283	675,450
受取利息及び配当金		59	7	60	3	3	9
他会計補助金		44,651	124,633	70,677	43,670	97,590	44,294
長期前受金戻入		90,622	59,235	53,727	29,941	41,179	28,963
雑収益		619,443	534,552	621,173	607,104	581,511	602,184
納付金		568,079	483,357	569,533	556,050	529,047	550,523
その他		51,364	51,195	51,640	51,054	52,464	51,661
市場事業費用		852,320	720,503	621,032	523,970	688,513	613,454
営業費用		839,846	707,645	611,691	514,759	679,901	596,058
市場管理費		332,028	349,632	321,211	312,254	385,535	412,437
減価償却費		476,440	323,056	290,358	193,416	245,224	183,621
資産減耗費		31,378	34,957	122	9,089	49,142	0
営業外費用		12,474	12,858	9,341	9,211	8,612	17,396
支払利息及び企業債取扱諸費		10,373	10,077	8,796	7,890	7,084	6,383
雑支出		2,101	2,781	545	1,321	1,528	11,013
当期純利益		▲ 97,545	▲ 2,076	124,605	156,749	31,770	61,996



大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

項目① 経営状況及び各種経営指標

(2) 各種経営指標

年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
経常収支比率	88.6%	99.7%	120.1%	129.9%	104.6%	110.1%
経費回収率	72.7%	74.2%	100.0%	115.9%	84.5%	98.2%
他会計補助金比率	5.2%	17.3%	11.4%	8.3%	14.2%	7.2%
自己資本比率	78.4%	87.0%	87.6%	88.5%	88.7%	88.7%
有形固定資産減価償却率	85.1%	85.3%	86.4%	86.8%	87.4%	88.1%
企業債残高対料金収入比率	83.4%	97.6%	76.9%	75.2%	77.9%	70.1%

経営指標の説明及び評価

指標名	算定式	評価基準	2022年度の評価
経常収支比率	経常収益/経常費用	経常費用を経常収益でどの程度賄えているかを示す数値で、100%以上が望ましい	100%を超えており、良好と考えられる
経費回収率	納付金等収益/経常費用	納付金等収益で必要な費用を回収できているかを示す数値で高い方が望ましい	100%に近い数字となっているため、良好と考えられる
他会計補助金比率	他会計補助金/経常費用	必要な経費が一般会計からの繰入金等によってどの程度賄われているかを示す数値で、低い方が望ましい	10%以下となっており、他会計補助金への依存度が低く、良好と考えられる
自己資本比率	(自己資本金 + 剰余金 + 繰延収益) /負債・資本合計	負債及び純資産の合計額にどの程度純資産が占めているかを示す数値で、高い方が望ましい	90%近くになっており、良好と考えられる
有形固定資産減価償却率 (注)	有形固定資産減価償却累計額 /有形固定資産帳簿価格 (非償却資産を除く)	有形固定資産の老朽化の程度を示すもので、高いほど老朽化が進んでいるとされている	80%台と高い数値となっており、施設や設備の老朽化が進み、耐用年数が近づいている
企業債残高対料金収入比率	(企業債残高 - 一般会計負担金) /納付金等収入	納付金等収益に対する企業債残高(一般会計負担分を除く)の割合を示す数値で、低いほど望ましい	年々減少しており、良い傾向にあると考えられる。

(注) 経営戦略 P 15で示している「有形固定資産減価償却率」は非償却資産（土地等）を含んだ額で算出しているため、非償却資産を除いた額で算出した。

大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

項目② 収支計画の更新内容

【更新内容】 なし。

(単位：百万円)

科目	年度	2022年度 計画(a)	2022年度 実績(b)	差額 (b)-(a)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
市場事業収益		751	731	▲ 20	752	751	744	744
営業外収益		751	731	▲ 20	752	751	744	744
他会計補助金		73	44	▲ 29	72	72	72	71
長期前受金戻入		38	29	▲ 9	27	26	19	15
雑収益など		641	658	17	653	653	653	658
市場事業費用		737	669	▲ 68	712	638	667	677
営業費用		689	613	▲ 76	665	592	622	632
市場管理費		492	429	▲ 63	484	406	435	458
人件費		171	135	▲ 36	171	171	171	171
物件費		322	294	▲ 28	314	235	264	287
減価償却費		197	184	▲ 13	179	184	185	173
資産減耗費		0	0	0	2	2	2	2
営業外費用		44	56	12	44	43	43	42
支払利息		7	6	▲ 1	6	5	5	4
控除対象外消費税		2	0	▲ 2	2	2	2	2
消費税及び地方消費税		36	40	4	36	36	36	36
その他		0	10	10	0	0	0	0
予備費		3	0	▲ 3	3	3	3	3
当期純利益		15	62	47	36	110	73	63
資金ベースの収支差額（資金不要額を除いた収支）		175	182	7	196	275	246	228
市場事業資本的収入		42	42	0	105	60	67	61
企業債		1	1	0	31	22	28	28
出資金		41	41	0	41	38	39	33
減債基金取崩し戻入益		0	0	0	33	0	0	0
市場事業資本的支出		87	84	▲ 3	179	122	136	123
建設改良費		4	3	▲ 1	64	45	57	57
企業債償還金		62	62	0	96	63	64	52
減債基金積立金		20	19	▲ 1	19	13	15	15

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計等とが一致しない場合がある

大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

項目④ 既存施設の改修等の状況

●計画期間中に予定されている改修工事

	施設整備の名称	整備年度					実施状況
		2022	2023	2024	2025	2026	
1	高圧受変電設備改修工事	○	○				2022年度に実施設計、2023年度～2024年度にかけて改修工事を実施予定
2	低圧共用幹線設備改修工事	◎					2022年度に水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事を実施 2024年度～2026年度に水産棟低圧共用幹線設備改修工事を実施予定
3	昇降機設備改修工事						大阪府中央卸売市場中長期保全計画では、2023年度、2024年度に整備予定としていたが、2008年度と2018年度に大規模修繕を実施し、2022年度に設備の劣化度調査を行った結果、昇降機設備の機能維持が図られていることが確認できたことから、計画期間中における改修工事の実施を見送った。

○整備中

◎整備済み

●計画期間中に予定されている主な計画修繕工事

	施設整備の名称	整備年度					実施状況
		2022	2023	2024	2025	2026	
1	屋上防水改修工事	◎	○				2022年度に青果棟屋上防水改修工事を実施 2023年度に水産棟の屋上防水改修工事を実施予定
2	計量器取替工事	◎	○				2022年度に電力量計取替工事を実施（305個） 2022年度にガスメーター取替工事を実施（168個） 2023年度に電力量計取替工事を実施中（326個） 2024年度～2025年度に量水器、電力量計取替工事を実施予定

○整備中

◎整備済み

大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

項目⑤ 活性化事業等の実施状況（市場活性化の取組みの継続）

2022年度の取組み	取組主体
○川上・川下との連携による需要のマッチング	
○産地ニーズに対応したイベント等の開催に向け、百貨店等とのマッチングを推進し、連携大学の学生が考案したレシピの配布や学生による店頭PRを実施した。（2回）	指定管理者
○大学のオープンキャンパスやマルシェでの農産物販売、カフェでのコラボメニューの提供など産地のPRを実施した。（10回）	指定管理者
○事業連携大学との連携事業の推進	
○連携大学の学生によるレシピ開発や生産者団体による同大学生を対象とした農産物の栽培体験、特産品の加工実習等の食育関連授業の実施により、川上や川下が求める消費拡大をめざした食育関連活動を推進した。（6回）	指定管理者 開設者
○生産者団体による連携大学の学生に対する産地や市場に関するリモート講義を実施した。（2回）	指定管理者
○食の情報発信機能の強化による認知度向上	
○家族を対象とした防災教室と防災クッキングを実施した。（1回）	指定管理者
○市場内でのフードドライブの実施	
○子ども食堂に食材を提供した。（3か所・15回）	指定管理者
○フードドライブを実施した。（多品目・65kg）	指定管理者

項目⑤ 活性化事業等の実施状況（市場活性化の取組みの継続）

2022年度の取組み	取組主体
○その他	
<p>〔近郊売場の充実・食品ロス低減〕 ○府農政室と連携のもと、新規就農者等が市場出荷する際に近郊売場をめざすよう、中部農の緑の総合事務所へ11月に説明を実施した。 ○府北部農と緑の総合事務所や摂津市と連携し、鳥飼なすの出荷量増加及び食品ロス低減のため、B級品取り扱いを実施した。需給バランスからB級品の販売は不調であったが、商品化については実現し、食品ロスの低減に貢献した。</p>	卸・仲卸 指定管理者 開設者
○市場見学を実施した。（3回）	指定管理者 開設者
○市場内道路の事故が多い交差点に遮断器を設置するとともに横断歩道を移設し、交通安全確保や市場内における安全運転に関するチラシを配布し、注意喚起に努めた。	指定管理者 開設者
○防犯対策及びゴミの不法投棄の防止のため、防犯カメラを設置して安心な秩序ある市場づくりを行うとともに、不法投棄を行った事業者に対し警察と連携して行政処分を行った。	指定管理者
○水産仲卸棟にカラス、ハトが侵入し、糞等による被害が出ていることから防鳥ネットの拡張やカラス捕獲トラップを増設を行い、食品衛生上の改善に努めた。	指定管理者

大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

項目⑤ 活性化事業等の実施状況（清潔で安心・安全な秩序ある市場づくりの継続）

2022年度の取組み	取組主体
○直接集荷・第三者販売等の申告の適正化	
○直接集荷については、市場だより掲載による啓発、チラシの配布、業務検査時などの機会等で毎月報告の期限を遵守するよう指導を継続した。	開設者
○第三者販売の届け出、卸売金額の報告、販売原票の写しの提出について、大阪府行政オンラインへの移行により、事業者の負担軽減とセキュリティ面の強化を図った。	開設者
○食品衛生検査所による監視・指導・検査及び研修・啓発の実施	
○HACCPに沿った衛生管理の実施状況や施設設備の設置状況等の監視・指導を行った。また、市場内を流通する食品の検査や施設設備のふき取り検査等を実施し、必要に応じて調査・指導を行った。 ・2022年度 監視・指導件数 37,645件、検体検査件数 2,835件	食品衛生検査所
○食品衛生及び食品表示に関する正しい知識を普及するため、研修を行うとともに、市場だよりへの掲載やチラシの配布による啓発を行った。	食品衛生検査所
○BCP（業務継続計画）の随時見直し及びBCPに基づく防災訓練の実施	
○BCP計画に基づいて、地震災害を想定して場内事業者の参加のもと伝達訓練及び連絡会議を実施した。	開設者
○不法占有の是正指導	
○2017年度に指定管理者と府が連携して市場施設の利用状況を図面化し、施設の無断使用等の防止に努めてきた結果、2022年度においても、これまでの取組みを引き続き実施したことにより、無断使用等は発生しなかった。	指定管理者 開設者
○ごみの減量化と分別・リサイクル	
○指定管理者と府が連携して廃棄物処理量及び処理費用を抑制するため、利用時間の制限を実施するなどゴミ減量化対策を継続・徹底した結果、廃棄物排出量が減少した。 〈廃棄物排出状況〉 ・2022年度 排出量 4,509トン（対前年度比 9.1%減） 処理費用 36,288千円（対前年度比 9.3%減）	指定管理者 開設者

項目⑤ 活性化事業等の実施状況（清潔で安心・安全な秩序ある市場づくりの継続）

2022年度の実施状況	取組主体
<p>○市場関係者による一斉大掃除の定期的な実施</p> <p>○令和4年6月、9月、11月、令和5年3月に場内事業者の参加のもと4回実施した。</p>	<p>卸・仲卸 関連事業者・団体等 指定管理者・開設者</p>
<p>○禁煙指導員による喫煙ルールの巡回指導</p> <p>○2018年4月に制定した「喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱」に基づく禁煙指導員による巡回指導を行い、違反者に通告書を交付するなど適切な指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙推進指導員 場内関係者40名を委嘱 ・喫煙コーナー 9か所設置 ・通告書（場内事業者のみ） 2022年度：50件 ・警告書（場内事業者のみ） 2022年度：5件 	<p>指定管理者 開設者</p>
<p>○防犯対策、不法投棄の防止等</p> <p>○防犯対策及びゴミの不法投棄の防止のため、防犯カメラを設置して安心な秩序ある市場づくりを行った。</p> <p>防犯カメラ設置台数 2022年度：18台 計：205台 〈不法投棄件数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月 7件 ⇒ 対策前に比べ約95%減 ※対策前の平成26年7月 133件との比較 	<p>指定管理者 開設者</p>